

平成 21 年度第 4 回議事録

日 時 平成 21 年 11 月 5 日 (木) 13:00~15:00

会 場 地盤工学会 3 階会議室

委員長	笹倉 剛	○	委員	スレン ソッキアン	×	委員	國分 章子	○
委員	松岡 達也	○	委員	別木 孝	×	委員	隅倉 光博	○
委員	細野 康代	○	委員	規矩 大義	○	オブザーバー	末政 直晃	×
オブザーバー	片桐 雅明	×	オブザーバー	竹内 秀克	×			
事務局	浅野	○	事務局	永田	○			

○：出席， ×：欠席

◎本日の議事録作成担当者 (國分 委員)

議事録 (細野⇒スレン⇒國分)

1. 報告事項

1-1. 前回委員会 (9/7 開催) 議事録確認 (作成者：スレン委員)

→議事録を確認し、了承された。(資料-別紙 1)

1-2. 前回会員・支部部会 (9/9 開催) 報告

→笹倉委員長より報告があった。(資料-別紙 2)

1-3. 前回広報委員会報告 (10/7 開催)

→スレン委員が継続教育システム委員会からの連絡役として広報委員会に出席していること、メディア懇談会 (マスメディアと理事との懇談会) を今後、年 4 回程度開催する予定で、今回は 12/25 であることが、永田事務局員より報告された。(資料-別紙 3)

1-4. 外部団体会議報告

☆日本工学会 PDE 協議会

10/5 開催 日本工学会 CPD 講演会

→学会ごとにポイントの与え方が違い、また、実務からは離れたものに対してポイントがついているのが現状である。実務での成長を認めるようなシステムにして欲しい事や、学会間でのポイント付与の共通ルールが必要ではないかとの意見があると、永田事務局員より報告された。(資料-別紙 4)

☆建設系 CPD 協議会

10/5 開催 第 2 回合同会議

→永田事務局員より報告された。11/16(月)開催のシンポジウムでは、海外のガイドライン

について紹介される。参加予定者は笹倉、規矩、浅野、永田、國分。その他参加希望者は、11/10（火）までにメールにて永田事務局員まで連絡すること。（資料-別紙5）

→次回の協議会は3月である。ルール等がある程度決まったので開催回数を減らしているが、来年度の頻度は審議してよい。（来年度は地盤工学会が幹事）

1-5. 建設系CPD協議会準備WG（10/20開催）

→永田氏より報告された。（資料-別紙6）

建設系CPD協議会は「運営委員会」「システム部会」「ルール検討部会（休止中）」から成り立つが、委員は当委員会から選出するのか、他から選ぶかは今後要検討。現状では、実務的な事から遠い人が委員になっており、議論が進展しない弊害があるとの事から、実務的な内容を把握している人等のある程度の条件をつけたメンバー召集が必要ではないかとの意見が出た。

→準備WGの期間は当委員会と情報を共有し進めていく。事務局として運営が開始されれば、事務局は外部の対応、当委員会は学会内部向けとして、それぞれの役割で動く事となる。

2. 審議事項

2-1. 22年度事業計画・予算について

→事業方針・計画について、建設系CPD協議会の事務局となることを踏まえ文章を追加したことが、笹倉委員長より報告された。（資料-別紙7）

→収支について永田事務局員より報告された。また、G-CPDシステムの移行について3社の見積内容について説明があった。システムを新規にするにあたり、会員データベースも同じシステムにすることが効率的であることから、会員支部部に報告し、会員支部部の意向も踏まえてシステム会社を選択する。会員に対してのみではなく、事務的作業量の低減を考慮したシステム・業者選択であってよいのではないかとこの意見があった。

2-2. プログラム認定審査の基準について（共催のイベント）

→国際ジオシンセティックス学会日本支部（IGS）からプログラム申請が来ている。地盤工学会の共催であり、また、会場が当学会の会議室であることから、カードリーダーの使用とエビデンスの発行をお願いしたいとの話であるが、カードリーダーの使用は了承し、エビデンスの発行については主催者側が行うよう伝える事とした。（資料-別紙8）

2-3. 技術講習会コース制修了者ポイント登録について（資料-別紙9）

→技術講習会コース制の修了者へのポイント付与で登録名はどうしたら良いかと、永田事務局員から質問があった。コース制は「地盤工学基礎コース」「土質・基礎コース」「調査・設計・施工コース」「防災・環境コース」「国際・一般教養コース」の5コースがあり、それぞれ修了者には「技術講習会〇〇〇〇コース修了」とした名目によりポイントを付与する事となった。（イベント番号は年度毎）

2-4. 建設系CPD協議会加盟団体のイベントのポイント登録について（資料-別紙10）

→地盤工学会のポイントとして登録するイベントは、建設系CPD協議会加盟団体が主催するもの、もしくは協議会のポータルサイトに掲載されているイベントであるが、実情は加盟団体が主催していないものやポータルサイトに掲載されていないものも登録申請があり、一件ずつ調べてポイント付与している（現在、年間50件程度）。今後、このような申請が増えることが予想されることから、相互認定についてのルールを明確にする必要があるのではないかと、永田事務局員から提案があった。地盤工学会でのルールを明文化し、わかりやすく示す事となり、委員長が原案を作成し、ルール改訂WG（別木・細野・國分）が中心に審議することとなった。

○お知らせ：永田事務局員から委員会の担当が変更になる事が報告された。

○次回委員会開催日：メールにて開催日を決定することとなった。（11/13までに要返信）

以 上